

# リズム軽快 笑顔輝かせ

## 大船渡北小 米の団体13人とダンス

米国の非営利活動団「震災の被災地支援活動体ヤングアメリカンズ(ミルトン・アンダーソン代表)のメンバー13人は7日、東日本大震災の被災地支援活動の一環として大船渡市大船渡町の大船渡北小を訪れ、歌やダンスを体験するワークショップ



プを開いた。児童は、軽快なリズムに合わせて体を動かし、笑顔を輝かせた。ワークショップは同校体育館で開かれ、同校の5、6年生約80人が参加した。初めは緊張気味だった子どもたちも次第にメンバーと打ち解け、体全体で楽しさを表現。ダンスの最後にポーズを決めると、会場は大きな歓声に包まれた。出羽美優さん(5年)は「ちょっとときどきしたけれど、教えてくれた人が

軽快なリズムに合わせて、ヒップホップダンスを楽しむヤングアメリカンズのメンバーと児童

「優しくて楽しかった」と笑顔で振り返った。

同団体は2006年から東京のNPO法人の協力の下、日本での活動を展開。メンバーの一人、メアリー・リーストさん(24)は「活動を通じ、いろんな経験をさせてくれた日本に少しでも恩返しをしたいと思っている。子どもたちと笑顔を共有することができて良かった」と感謝していた。同団体は今月末まで、沿岸被災地の20カ所余の小中学校などでワークショップを行う。